

1. 事故発生の日時

平成16年11月18日 13時30分頃

2. 事故発生の場所

和歌山県東牟婁郡熊野川町

3. 事故発生場所の工事名、工期、工事概要

工事名：平成16年度 急傾斜 急傾斜地崩壊対策工事

工期：平成16年 9月17日～平成17年 2月28日

工事概要：L=39.9m 重力式擁壁工 116m<sup>3</sup>

4. 請負業者区分

県内建設業者

5. 事故発生状況

急傾斜工事における擁壁施工で、コンクリート硬化後、型枠を脱型し、鋼管バタ角を背後の仮設道に集積作業中であった。（仮設道は任意仮設として業者が設置）

鋼管バタ角を集積し、5列5段25本を1束（約405kg）に、それを2段に積み上げ作業中に上段25本が滑落し、作業員1名が挟まれた。

元請 男性 1名 負傷（右大腿骨骨折） 休業90日（予定）

6. 事故原因

積み上げ場所は傾斜していて、雨天により金属が滑りやすい状況であり、また、天候は小雨（時間雨量1mm/hr）で連続雨量が17mm程度となっており、足下はぬかるんだ状態であった。足下は作業により、泥濘化して動きにくい状況であった。

7. 改善対策

傾斜地に材料等を積み上げない。滑動、転倒防止を図る。

作業背面に逃げ場の無いような状況を作らない。作業位置を考慮する。